

○ 本校の概要

・児童一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させるために学習規律を整え、ICTを活用するなどわかりやすい授業の実現をめざし、学校全体で日常的な授業改善に力を入れている。
 ・六郷地域の文化や自然を教材化し、地域の特色を生かした学習活動を展開している。
 ・「スクールサポートにしろく」と連携し、「昔遊び体験」(1年)、「多摩川ウォッチング」(3年)、「福祉体験」(4年)、「日本の伝統文化を学ぶ」(6年)、「戦争体験に学ぶ」(6年)学習など、各学年でゲストティーチャーを招いて地域に根ざした学習を行っている。
 ・西六郷小学校少年合唱団の発足の地であり、現在も西六郷小学校合唱部と西六郷少年少女合唱団として活動を続け、歌声の響く学校として地域からも愛されている。
 ・校内研究を通して外国語活動・外国語科の指導方法について研修を深め、コミュニケーションを図る楽しさを実感できる児童の育成を目指している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
							評価	人数
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について、指導する。		児童アンケートで、「得意だと思う教科がある」と回答した児童の割合	4: 90% 以上		A	
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。			3: 80% 以上			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。						
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。			2: 70% 以上			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。			1: 70% 未満			
		「学習スタンダード」を中心に全校で統一した学習規律を徹底し、集中して学べる環境を整える。			D			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。		児童アンケートで「友達は大切だと思う」と回答した児童の割合	4: 90% 以上		A	
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。			3: 80% 以上			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。						
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。			2: 70% 以上			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。			1: 70% 未満			
		運動会・学芸会などの学校行事を通して、児童に目標を達成する喜びを味わわせると共に、互いに高め合い協力する態度を育てる。			D			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。		保護者アンケートで「学校は健康なからだで体力向上に向けての取り組みを行っている」と回答した保護者の割合	4: 90% 以上		A	
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。			3: 80% 以上			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。			2: 70% 以上			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。			1: 70% 未満			
		オリンピック・パラリンピック教育を推進し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培う。			D			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。		保護者アンケートで「先生は、分かりやすい授業に努めている」と回答した保護者の割合	4: 90% 以上		A	
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。			3: 80% 以上			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。			2: 70% 以上			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。			1: 70% 未満			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。			D			
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。		保護者アンケートで「PTA活動やスクールサポートにしろくなど、学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもの育ちを支える仕組みを活かしている」と回答した保護者の割合	4: 90% 以上		A	
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。			3: 80% 以上			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。			2: 70% 以上			
		地域人材をゲストティーチャーとして招いたり、地域に出て学ぶ授業を設けるなど、地域に親しみを感じながら学ぶ機会を設定する。			1: 70% 未満			
		宿題や家庭学習の手引きを活用し、家庭の協力を得ながら、子供の家庭学習を充実させる。			D			